



卒論発表，修論発表を終えて

2, 3月号の大見出しは，卒論発表，修論発表を終えた感想を書いたいただきました！

皆さん修論・卒論発表お疲れ様でした。私も長いようで短かった学生生活がようやく一区切りがつくと思うと感慨深いものがあります。振り返ってみると、新型コロナの流行で就職活動や大学生活、研究等思うようにいかないこともたくさんありました。特に就職活動は悠長に構えず、手痛い結果を受けることとなりました。皆さんは同じ轍を踏まず、是非アクティブに就職活動を行ってほしいです。社会に出た際、思うようにいかないことは多々あると思いますが、今回試行錯誤してきた経験を役立てていきたいと思えます。大きく予定が狂う院生生活でしたが、研究室の皆さんと先生方のおかげで楽しく過ごすことができました。有難うございました。執筆：溝口 朝斗

皆さん修論・卒論発表お疲れ様でした！昨年末から卒論を書き始め、1月に入ってから発表準備も並行に行い、慌ただしい日々でした。割と早くに卒論を書き始めたのにもかかわらずギリギリまで卒論を書いていました。添削・指導をくださった先輩方や先生、ありがとうございました。今は発表が終わり、自由な時間を楽しみながら、次の学会に向けて準備を頑張っています。研究やゼミの準備をしている中で、CPSの賑やかで話しかけやすい環境のおかげで非常に楽しい1年になりました。春から就職していなくなる方も沢山いると思いますが、この研究室での思い出を忘れずに頑張ってください。来年も自分はいるので、皆さんよろしくお祈りします！

執筆：吉田 京平



卒論発表
修論発表
お疲れ様でした！

目標は常に「One for ALL」で

M2生&4年生の皆さん，修了&卒業おめでとう！！

これから社会に出る人，大学院に進学する人，そして4月から本格的に「卒業研究」の履修に入る3年生の皆さん全てに共通して役に立つメッセージは何かなあと考えてみました。

過去の祝賀会や謝恩会で私が何度も口にした内容なので，皆さんのお耳に巨大なタコができていられるかもしれませんが，何度でも声に出して訴えたいことなので，ここに書かせて頂きますね。

研究や開発を行おうとすると，ついつい目先の利益（先生への報告，ゼミでの発表，会社の短期的な利益etc.）を最優先してしまい，机上の空論や，「誰得？」と疑問を呈したくなるような研究テーマやPDCAサイクルのPを決めてしまうことがよくあります。

もちろん，限られた年限である程度の結果を出すために，到達しやすい目標を掲げることは致し方ない面もありますが，例え学問レベル的にそれほど高くない目標であっても，最低限，実用性や有用性を説明できる研究テーマや目標設定をしましょう。

研究テーマや研究目標に関して，「誰が，どんな利益を享受できるのか」と「（実用性，有用性，新規性，独創性のいずれでも良いので）皆さんが込めた工夫や情熱」を，いつどこで問いかけても明確に答えられるようにして欲しいと思います。次年度研究室に残る皆さんの中で，予定している研究テーマがもしこの間に答えられないものである場合には，ぜひ先生と話し合っってテーマを変えましょう。CPSラボの成果は，卒業や修了を獲得するためではなく，「どこかの誰かに幸福を運ぶ」ものにしませんか？

そして，3月にラボから社会に巣立つ皆さんには，開発，販売するプログラムやシステム，提供するサービスが，エンドユーザを幸福にするものにして欲しいと思います。モニタ画面の向こうに常にエンドユーザの顔を思い浮かべて欲しいと考えています。

今後の皆さんの健康と活躍を切に願っています。

執筆：奥村 浩



Sharing my local town♪

私の地元芦刈を紹介します。芦刈には干潟体験場があり、干潟の希少生物を間近で見ることができます。また、泥まみれになり人間ムツゴロウになることができます。散々遊び終わった後は、ほっともってお腹を満たして近くのデイリーヤマザキでお菓子とジュースを買って自然な景観を楽しむことをおすすめします。デイリーは24時間開いているのでとても便利です。それに駐車場が広く、車が停めやすいです。ぜひ来てみてください。



山口研B4
松永勇樹




福田研B4
河原 杏香



私の地元、玉名市にある蓮華院誕生寺奥之院について紹介します。小岱山という山の麓にあるお寺で、五重塔や大仏などの建築物があり、節分など季節ごとにイベントも開催されています。奥之院には世界最大級の釣鐘があり、重さは37.5トンにもなるそうです。いろいろな植物が植えられており四季を感じられます。3月末には桜の花が見ごろになります。展望所からの景色もきれいなのでぜひ来てみてください！



～新しい仲間の紹介～

氏名	Yeoh Wen Liang (ヨ一) (31歳)	
出身地	クアラルンプール, マレーシア	
趣味	映画・ドラマ, ゲーム, ロボット, 料理	
研究テーマ	人と機械の協力・インタラクションを研究しています。修士までは機械工学の専攻だったけど、人間にやさしい(人の特性に基づいた)動作アシスト機器の開発に携わりたく、博士から人間工学を研究してきました。現在も安全かつ効果的なアシストを目指し、色んな視点・技術で人間と機械の協働度を高めたいと思っています。具体的に、「人の能力をアシストや評価やトレーニングなどのデバイス開発」、「外力に対して筋肉・動作の反応・適応の理解」、「人一人と人一人機械の協力戦略」などに興味深いです。	
メッセージ	佐賀に知り合いがあまりいないので、私が手伝えることがあるとか、面白い事があったとか、何でも声かけてください。	

学会体験談

初めて学会に参加する学生が増えてきたため、学会経験のある院生に体験談を書いて頂きました。

FSS2021にて自身の研究成果を発表しました。参加するに至って意識したことは、「詳しく説明しつつ伝える工夫をする」ということです。というのもCPS研のように何回も発表を聞いたことがある人たちではなく、私の研究を知らない方に発表するからです。そのため、普段のゼミ以上に詳細まで説明する必要があります。ただそうなる则と分かりづら発表となってしまう恐れがあるため、スライドの構成や説明する順番、文字・写真の配置などを工夫するよう心掛けました。開催自体はオンラインで普段のゼミと変わらない緊張感で発表することができましたが、質疑応答で詰まったところがあったのでもっと練習すべきだったなと思います。

執筆:徳丸 拓希

学会を経験して感じたのは普段のゼミの大切さです。いつも先生方がおっしゃる「できるだけシンプルに」や「自信を持って話す」、そして「誰のために何ができるかを明確に」といったことがどれだけ重要であるかを、改めて実感しました。聞き手は初めてこの発表を聞くということを常に忘れてはならないと思います。また準備に関して重要なことは、発表練習を納得のいくまで行うことだと思います。学会に限ったことではありませんが、本番で練習以上のものは出ないと考えています。普段のゼミの発表は本番でもあり、学会発表の練習でもあるかと思っています。ゼミの発表を丁寧に取り組むことが、後悔の無い学会発表に繋がるのではないかと思います。

執筆:宮田 竜輔

編集後記

●背景写真

2, 3月が見頃の梅の花にしました。



●デモスペースが完成しました！

就活などにぜひ活用していきましょう。

